

| 2021年度通常公募_団体情報シート | | | |
|--------------------|---|-----------------|-----------------------------------|
| 団体名 | 筑後川コミュニティ財団 | 団体web サイトURL | https://c-comfund.com |
| 申請事業名 | 誰ひとり取り残さない居場所づくり | 申請受付番号 | 21205 |
| 主眼 | | 申請事業の分類① | ①草の根活動支援事業 |
| 副眼 | 学びの場における子ども若者の孤立解消と育成 | 申請事業の分類② | ①-2 地域ブロック |
| | | 申請事業の分類③ | 九州ブロック(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島) |
| 優先すべき社会の諸課題選択科目 | | | |
| 領域① | 1)子ども及び若者の支援に係る活動 | 領域② | 2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 |
| 分野① | ① 経済的困難など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 | 分野② | ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援 |
| | ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 | - | - |
| - | - | - | - |
| 領域③ | 3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 | 領域④ | - |
| 分野③ | ① 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 | 分野④ | - |
| | | - | - |

| 申請事業概要 | |
|--|--|
| <p>本事業では、学校等に居場所がない子どもや外国人等の子どもを対象とし、FS等の民間教育施設、子どもの居場所を運営している団体をそれぞれ1つずつ計2団体採択し、1団体当たりの助成額は2,100万円を予定している。資金的支援の短期アウトカムを「筑後川関係地域において、FS等が持続的に運営され学びの選択肢が増えることにより、学校に合わない子どもが学校以外の学びの場にも自分に合った居場所を持つことができる」、「国籍、文化、言語の違いに関わらず受け入れられる居場所があることにより、外国人等の子どもが地域社会の一員となることができる」などを設定し、非資金的支援の短期アウトカムを「実行団体が社会から信頼される体制を整え、円滑な事業運営ができていく(組織基盤強化)」、「当財団や実行団体が多様なステークホルダーと連携・協働できる環境が整っている(環境整備)」などを設定した。これらの達成により「事業終了後5年後に筑後川関係地域において誰ひとり取り残さない居場所が運営されることにより、学校に合わない子どもや外国人等の子どもが自分に合った居場所を選択できる地域や社会になる。」という中期アウトカムに繋げる。</p> | |

| 団体組織情報 | |
|--------|--|
| 1 | <p>●設立・法人取得年月日</p> <p>設立年月日 2019年8月1日</p> <p>法人格取得年月日 2019年8月1日</p> |
| 2 | <p>●団体概要</p> <p>団体概要</p> <p>当財団は福岡、佐賀、大分、熊本の4県に跨る筑後川関係地域を事業対象とし、地域社会の課題解決に向けて次の事業を実施している。 ①CSO等への助成事業(2020年度通常公募団体助成金等活用事業、子ども若者応援助成、47コロナ基金協働団体、筑後川災害救済基金) ②CSO等への組織・事業運営に関する支援 ③CSO等への研修(SDGs、災害対応、遺贈等) ④寄付文化及びボランティア活動の普及啓発 ⑤地域円卓会議の企画運営</p> |
| 3 | <p>●代表者情報</p> <p>代表者名 宮原 信孝</p> <p>代表者の役職 代表理事</p> <p>代表者名 2 -</p> <p>代表者の役職 2 -</p> |
| 4 | <p>●役員</p> <p>役員の数 16人</p> <p>(その内) 監事/監査役・会計参与の人数 2人</p> <p>置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数 1人</p> |
| 5 | <p>●事務局職員</p> <p>職員・従業員合計 6人</p> <p>以下、職員・従業員の内訳</p> <p>常勤・有給・有期 2人</p> <p>常勤・有給・無期 0人</p> <p>常勤・無給(有期・無期) 0人</p> <p>非常勤・有給・有期 4人</p> <p>非常勤・有給・無期 0人</p> <p>非常勤・無給(有期・無期) 0人</p> |
| 6 | <p>●資金管理体制</p> <p>決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること はい</p> |
| 7 | <p>●区分経理・帳簿</p> <p>1.必要な会計帳簿が備えられている はい</p> <p>2.業務別に区分経理ができる体制である はい</p> |
| 8 | <p>●監査</p> <p>年間決算の監査を行っているか ①監事を実施</p> |

| 助成実績 | | |
|-----------|---|--|
| 1 | 前年度の助成件数 (件) | ・子ども若者応援助成：13団体 ・休眠預金等活用事業（2020年度通常枠採択）：2団体 |
| 2 | 前年度の助成総額 (円) | 未記入 |
| 助成事業の実績内容 | | |
| 3 | <p>当財団では2020年度（2020年8月～2021年7月）に子ども若者応援助成と休眠預金等活用事業（2020年度通常枠）による助成を実施した。</p> <p>子ども若者応援助成では、筑後川関係地域において困難を抱える子ども若者に対して事業を実施している13の団体を助成し、採択団体に対しては活動視察やヒアリングを行い、事業成果についての調査を実施した。元同国際交流ひろばでは外国人の社会的孤立は外国人の力を必要としている日本社会として解決しなければならない課題として、多文化共生に関する活動を実施した。この他にも親と子の居場所づくり事業や障がいを持つ子どもへの理解を促進する活動を行った団体などがあり、地域の社会課題解決に繋がる事業になったと考える</p> <p>そして、休眠預金活用事業では申請にあたって東京大学中村寛樹研究室の協力を得て、「筑後川関係地域子ども若者の現状と課題」のレポートをまとめ、課題の分析を行った。これを踏まえ、事業・公募の設計を行い「困難を抱える子ども若者の孤立解消と育成」をテーマに、貧困世帯の子どもに対する事業を行う「NPO法人わたしと僕の夢」と若者の社会的孤立を解消する事業を行う「みんなの家みんか」の2つを選定した。事業開始にあたり多様な関係者を集めたワークショップを開催し、課題の共有、事業についての理解を得た。次に、事前評価では「子どもの貧困」、「若者の社会的孤立」を中心課題に据え先行研究等の調査、アンケート調査、専門家へのヒアリング等を実行団体と共にを行い、事前評価報告書を独自に作成した。本報告書は評価アドバイザーより「（本報告書の内容が達成されれば）筑後川関係地域において目にするのが無かった成果が期待される」など高い評価を得ている。</p> <p>常に丁寧な伴走支援を心がけ、実行団体から「正と一緒に事業を行っているように感じる身近な存在です」などの声があり、強い信頼関係の元に事業運営ができています。</p> | |

| 誓約確認等 | | システム入力 |
|-------------------|----------|--------|
| 欠格事由に関する誓約 | 誓約 | チェックあり |
| 業務に関する確認 | 業務1.1の確認 | チェックあり |
| | 業務1.2の確認 | チェックあり |
| | 業務2の確認 | チェックあり |
| | 業務3 | 該当なし |
| | 業務3の確認 | チェックあり |
| 個人情報保護に関する基本方針の同意 | 同意 | チェックあり |